

2年A組 美術科学習指導案

日 時 平成28年10月18日
指 導 者 戸草内 芽以
展開場所 美術室

1 題材名 鑑賞からはじまる立体絵画 ～平面から3Dへ～

2 題材について

(1)題材観

本題材は、最初に鑑賞カードから気に入った作品を選び、気に入った一枚の作品と対峙し、再構築する過程を通して、形や色彩、構成などを切り口に、自分の発想を加えて、新たな作品に作りかえる題材である。

鑑賞カードから生徒が選んだ作品を、ケント紙に印刷してそれぞれの生徒に配布する。そのケント紙に印刷された絵画の、部分を切り離したり、貼り付けたり、塗り替えたりして、生徒は独自の工夫を加えながら、背景や前景など、3～6枚重ね合わせることで、奥行きを感じられる作品を制作する。

生徒が他者の作品に手を加える事に対し、罪悪感のようなものを感じることも予想されるが、それが好奇心に変わり、発想へとつながるのではないかと考える。

第2学年の美術の目標に「(2) 対象を深く見詰め感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。」とある。そこで、自分の選んだ名画という対象を深く見詰め、想像力を膨らませ、独創的な発想で工夫を加え、作品を再構成することを通して、生徒の豊かな発想力と総合的な構想力、創造的な表現力を養いたいと考える。

また、本題材では、作品を観察し、想像を膨らませ、構想することで、一枚の作品と対峙し、鑑賞する力を養うことができる。名画の鑑賞をきっかけとして、発想と構想の能力を伸ばす、表現活動を通じた授業である。

(2)指導観

生徒自身が自ら学ぶ姿勢をもち、意欲的に取り組むことで、能力は高まり、学習は効果的なものになると考える。そのため題材は、生徒の興味・関心を引くものであることが重要ではないかと思う。生徒個々の好きなものに関係していたり、おもしろそうだと感じたり、自分のためになると思える等、興味・関心を引く条件はいくつかある。その

中でも本題材は、平面的な絵画を立体的奥行きのある作品にするという作品自体のおもしろさ、他者の作品に手を加えることで感じる罪悪感と好奇心などによって、興味・関心を引くことができるのではないかと考える。

3 題材の目標

- 美術作品に関心をもち、よく観察し、良さや美しさを感じる。(鑑賞の能力)
- 美術作品を見つめ、形や色彩、構成などの創造的な工夫を主体的に表現する。(美術への関心・意欲・態度)
- 背景や前景などの空間感覚をもち、順序を考えながら表現する。(創造的な技能)
- 美術作品を基に想像力を働かせ、形や色彩、構成を工夫し、表現の構想を練る。(発想や構想の能力)

4 題材の評価基準

(ア)関心・意欲・態度	(イ)発想・構想	(ウ)創造的な技能	(エ)鑑賞の能力
①対象を見つめ、考えたことを表現することに関心をもち、主体的に表現しようとしている。 ②美術作品に関心をもち、主体的に理解を深めようとしている。	①美術作品を基に想像力を働かせ、形や色彩の効果を生かして創造的な構成を工夫し、表現の構想を練っている。	①構想を表現するため、制作の順序を総合的に考えながら、見通しをもって表現している。 ②部分と全体との関係を理解し、奥行きのある空間を表現している。	①鑑賞カードの絵画をよく観察し、形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、良さや美しさを感じることができる。 ②他者の作品のよさや美しさ、作者の意図や創造的な工夫を感じ取ることができる。

5 題材の指導計画・評価計画 (本時 3/9)

時	○目 標	・学習活動	評価の観点
1	○鑑賞カードから作品を選択しよう。 ○選んだ鑑賞カードを紹介しよう。	・鑑賞カードの中から、自分の作品の基となるものを選択する。 ・選んだ作品のタイトルや作者などを知り、班の人に紹介し合う。 (鑑賞カード、ワークシート)	(ア)② (エ)①
2	○選んだカードを基に構想を練ろう。	・選んだカードから、形や色彩、構成を創造的に工夫し、アイデアスケッ	(イ)①

	○アイデアスケッチを描こう。	<ul style="list-style-type: none"> チをする。 アイデアスケッチを背景や前景などの層に分けて印をつける。 (アートカード、ワークシート) 	
3 ～ 4	○描き加えたり、塗り替えたり、工夫を加えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 印刷された絵画に描き加えたり、塗り替えたり、基の絵画に創造的な工夫を加える。 (ワークシート、ケント紙、絵具) 	(ア)① (ウ)①
5 ～ 6	○切り出して重ねよう。	<ul style="list-style-type: none"> 描き加えた印刷絵画の部分を切り出し、背景や前景など、奥行きが出るように重ね合わせる。 層を重ねて付ける際、のり付きパネルを挟み、厚みを出す。 (ケント紙、カッター、カッター板、のり付きパネル、両面テープ) 	(ア)① (ウ)②
7	○額装しよう。	<ul style="list-style-type: none"> 作品に額を付ける。 	(ア)①
8	○お互いの作品を鑑賞し、良さや美しさ、表現の工夫を感じよう。	<ul style="list-style-type: none"> 自身の作品の感想、工夫したところをワークシートに記入する。 他者の作品を鑑賞し、気に入った作品について記述する。 (作品、ワークシート) 	(ア)② (エ)②

6 本時の指導

(1) 本時の目標

○美術作品を見つめ、形や色彩、構成などの創造的な工夫を主体的に表現しよう。

○背景や前景などの空間感覚をもち、順序を考えながら表現しよう。

(2) 本時の観点別評価基準

(ア)関心・意欲・態度	(イ)発想・構想	(ウ)創造的な技能	(エ)鑑賞の能力
①対象を見つめ、考えたことを表現することに関心をもち、主体的に表現しようとしている。		①構想を表現するため、制作の順序を総合的に考えながら、見通しをもって表現している。	

(3) 本時の展開 (4 / 9)

学習活動	教師の指導・支援	評価
<p>1 前時の授業を振り返り、制作の進捗を確認する。 本時の内容、注意事項を確認する。 <導入></p>	<p>○制作の手順の確認をさせる。 ・アイデアスケッチ、層の印つけができていない生徒は前時の続きをさせる。 ・印刷した絵画に描き加えたり、塗り替えたり形や色彩、構成に工夫を加えさせる。 ・周りの情景に溶け込ませる色づくり、造形を指導する。</p>	
<p>描き加えたり、塗り替えたり、工夫を加えよう</p>		
<p>2 制作の準備、制作を行う。 <展開></p>	<p>①絵具の色はチューブの色そのままではなく、周りの情景と馴染ませるよう混色させる。 ②水分量を調節させる。 ③平塗りと点描など、着彩の方法を説明する。</p>	<p>(ア)① (ウ)①</p>
<p>3 後始末をする。今後のスケジュール確認をする。 <まとめ></p>	<p>○本時の学習内容を振り返り、次時以降のスケジュールを確認、見通しをもたせる。</p>	